

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター向島あづみ（児童発達支援）			
○保護者評価実施期間	R7年12月1日 ~ R7年12月20日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	54世帯	(回答者数)	44世帯	
○従業者評価実施期間	R7年12月1日 ~ R7年12月9日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	14人	(回答者数)	12人	
○事業者向け自己評価表作成日	R8年1月9日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ペアレント・トレーニングの実施	・グループや個別で対応していること ・クラス単位で実施している為、講義内容をすぐに体験し、振り返りを行っている。 ・子どもの特性を踏まえて、事例内容を変えて講義を行っていること。	・土曜日・平日の午前中に開催している為、保護者の参加が難しい日もあり、日程の調整が必要と思われる。 ・
2	・他種職の職員でチームが構成されている事 専門職（言語聴覚士・公認心理師・お案額療法士）	・一人の利用児に対して、専門職による個別指導や保育士等による集団指導において、情報共有をし、個に合ったプランを作成し取組むようになっていること	・保護者の方々に来園していただく機会を設け、情報提供を行い、一緒に子育てをしていく態勢を図っていく。引き続き日程調整を行っていく。
3	・きょうだい児への支援	・今年度は行事（運動会・発表会・夕涼み会）等にきょうだい児の参加種目を設けて参加を促した。 ・定期的にサークル活動を開催し、文化に触れあう機会をつくり、きょうだい児にも参加してもらい、親子での時間を楽しんでいたでける様に計画した。	・サークル活動の充実度を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の方と対象児の共通認識の難しさ	・保護者の方の受容と・特性の理解の難しさ	・なぜ、そのような支援が必要であるのか、根拠となるもの・ねらいを視覚を交えながらわかりやすく伝えていく。
2	・建物が古く、耐震が出来ていないこと・不審者が侵入した時の防止が難しいこと	・保育所の跡地を利用している為、建物が古いこと	・より良い環境になる様に検討中
3	・地域の認定こども園や保育所の子ども達との交流が少ないこと	・事業所の利用形態で、地域の保育所や認定こども園に通いながら、利用しているお子さんがいるため、行事や自由時間に交流が持てているが、療育を利用してないお子さんとの交流の機会は環境により不安になる可能性が高いため進んで計画をしないこと。	・地域の方々に来園してもらう行事等を計画し、交流の機会が出来るように取り組んでいく。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援センター向島あづみ (児童発達支援事業)
------	-------------------------------

公表日 R8年1月30日

利用児童数

R7年12月20日

回収数 81%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからぬい	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	93	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーテーションなどを置いたりして遊ぶ場所をとっている。</li> <li>・十分には走り回れる空間が出来ていると思います。</li> <li>・親子活動や発表会の時など、広く使えてい ると思います。</li> <li>・夏限定ですがプールがあることがすごいと 思います。プールが人数に対して狭いと思つた。</li> <li>・広く十分だと思う。</li> <li>・プレイルームがあり、しっかり体を動かし て遊べるなどおもいます。</li> <li>・2階建てですごく広く活動スペースは十分 に確保されていると思います</li> <li>・活動ごとに部屋が決まっていて気持ちの切 り替えがしやすくなっていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝礼で活用内容について共有し、指導 室の使用について確認し合っている。</li> </ul>
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	86	9	0	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが崩れてもそばで援助してあげてい るから。</li> <li>・いつもしっかり見て頂けていると思いま す。</li> <li>・適切な人数だと思います。</li> <li>・たくさんの先生方に対応していただけるの で、安心して過ごしていると思います。</li> <li>・送迎した際には職員の方がすぐに出迎えて いただけるので待つことなく子どもが預けら れています。</li> <li>・既定の配置人数がわからないが子ども一人 一人をしっかり見れる人数だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本人員以外にも職員の配置がされて いるので、対応できるようになってい る。</li> </ul>
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境 になっていると思いますか。また、事業所の設備等 は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等 への配慮が適切になされていると思いますか。	93	7	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラストがありわかりやすいと思う。</li> <li>・小人数で適切な空間での環境なので子ども 達は落ち着いて工作などの作業が出来ている と思います。</li> <li>・広さなど子どもが過ごしやすい構造だと思 う。</li> <li>・生活空間は子ども達にわかりやすい動線に なっていますし、着脱する場所・遊ぶ場所 等・色々と区切られていてわかりやすい空間 だと思います。</li> <li>・いろんな場所にイラストが貼ってありわか りやすいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長や特性に応じて構造化を している。</li> </ul>
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっ ていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた 空間となっていると思いますか。	89	9	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設が古いので仕方ないですが廊下の移動 が寒いと言っています。構造上仕方がないか なと思います。</li> <li>・清潔にされていると思います。</li> <li>・活動にあつた空間だと思います。</li> <li>・子ども達が活動しやすい、わかりやすい目 印など部屋の机の配置なども工夫されている と思います。</li> <li>・いつも廊下などにはほこりや砂はなく清潔に保たれています。</li> <li>・先生たちが子ども達の登降園の前後に清潔 にして下っていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外廊下の為、遮光ネットを活用し、遮 热や防風に対応している。</li> </ul>

適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	96	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人を十分に理解し、対応してくださっていると思います。</li> <li>・子どもの性格や得意なこと苦手なことを把握していただいており、合った対応をしていただけています。</li> <li>・子どもの些細な部分を察知してくださっていると思います。</li> <li>・子どもに合った、促し方や対応の仕方がなされている。</li> <li>・子どもの良いところを見て褒めてくれたりなど、叱り口調でなく、諭すようにゆっくり注意するなど配慮してくれています。</li> <li>・心理・言語など項目ごとで先生方が相談にのってくださいます。</li> </ul>	・今後も継続して取り組んでいく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	93	5	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合っていると思います。</li> </ul>	・年に1回は見直しを行っている。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	98	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている事や出来るようになってほしいことを聞いてくださり、それに合った計画をしてくださっていると思います。</li> <li>・細かく適正に作成されて思います。</li> <li>・課題が明確にしきりあってその課題をどうしたら良いかまとめられて記されている。</li> <li>・親の話をよく聞いてくださり、子どもの特性を理解して今ある問題行動などをどのように解決していくか提案してくれます。</li> <li>・子どもの目線を大事にしつつ保護者の意見にも寄り添ってくださっています。</li> </ul>	・ガイドラインを基に、その子に合った目標設定を行い、チームで会議を行い作成している。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	89	7	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援もとても良くして頂いています。</li> <li>・無理を承知して頂いたり助かっています。</li> <li>・されていると思います。</li> </ul>	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	98	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に沿って課題に対応してくださっています。</li> <li>・十分にされていると思います。</li> <li>・子どもに合った支援が受けられていると思います。</li> </ul>	・親子活動や行事等で、支援を見ていただく機会を設けている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	89	7	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、いろんな内容で楽しめています。</li> <li>・色々なことを考えてくださっていると思います。</li> <li>・園便りにて毎回活動内容を考えてくださり、子ども達の為に工夫してくださっていることを感じます。</li> </ul>	・月末には、次月の活動と活動のねらいを、配信し保護者の方や子ども達に見通しをもって登園してもらうことが出来るようにしている。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	55	18	9	18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あづみに行く前と帰ってからは子ども園で他の子ども達と交流しています。</li> <li>・交流はないです。</li> <li>・公園や公共施設で遊んだりはあります。</li> <li>・色々な園の子ども達が集まっているので、友だちが増えたと感じます。</li> </ul>	・地域のみの保育所や認定こども園に通っている子と交流する機会は設けていないが、併行利用しながら利用している子と関わることが出来るようにしている。 ・地域行事への案内を行っている。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	98	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありました。</li> </ul>	・契約時に説明すようにしている。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	96	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明されました。</li> <li>・丁寧にお話してくださいました。</li> </ul>	・内容を説明し、納得していただいてからサイン・押印をしてもらっている。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレント・トレーニングに参加させて頂いたり、講演会の案内もいただいている。</li> <li>・ペアトレはわかりやすく、また、家庭で取り入れやすいように工夫されています。</li> <li>・行われています。</li> <li>・ペアトレは初めての発見など多々あり、勉強になりました。</li> </ul>	・今後も継続して開催し、子育てに活かしてもらうことが出来るように、取り組んでいく。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	96	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>連絡帳で詳しく教えて頂いています。</li> <li>思います。</li> <li>連絡帳で生活の様子や変化も書いてくれて助かります。その日の行動やどんなことをしていたのか教えてくれるので、連絡帳を見てうれしくなる時があります。</li> <li>コドモンや連絡帳でやりとりしてくださっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎時にお会いできる方には直接様子をお伝えし、バス利用などで難しい方には連絡帳で様子をお伝えしたり聞いたりしている。</li> </ul>
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	94	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に支援あります。</li> <li>個別後に相談あれば時間を作ってくれ、対応してくれます。</li> <li>個別指導の際に、いつも話を聞いてくださってありがとうございます。</li> <li>相談などして一緒にその子に合った方法を考えてくれて提案してくれます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的には6か月に1回のモニタリングの実施</li> <li>月1回の親子活動でのクラス懇談</li> <li>個別指導後の助言等を行っている。</li> </ul>
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	94	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>とてもとても寄り添っていただき、精神的にも楽になります。</li> <li>思います。</li> <li>職員の方との個人対面が少ないのでどちらとも言えないかと思います。</li> </ul>	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	81	10	0	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動会や発表会ではきょうだい児参加の種目もあったり、他の保護者の方とお話しも出来ています。</li> <li>きょうだい児も参加出来たり、支援されていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度からきょうだい児の参加行事を計画したが、初回の為人数制限や回数の制限を設けたため、今後は幅広く取り組んでいくように計画していく予定。</li> </ul>
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	92	6	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談したらすぐに面談の機会を作っていただけました。</li> <li>適切に対応されていると思います。</li> <li>子どもが病気の際は利用可能か電話相談した際には迅速に対応していただきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談あった場合は、迅速に対応できるよう今後も継続して組んでいく。</li> </ul>
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	98	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>すごく配慮されていると思います。</li> <li>コドモンやライン、ノートなどで、相談させてもらうこともあります。</li> </ul>	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	94	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>配信されていると思います。</li> <li>アプリでの情報は楽でいつでも見れて助かりますがギガがなくなると見れなくなる時があるので困るときがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙媒体とコドモンの活用の使い分けを検討し、配慮していく。</li> </ul>
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	94	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>よくわかりますが大丈夫だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時個人情報の取り扱いについては注意するように互いに声を掛け合うようにしていく。</li> </ul>
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	87	9	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難訓練をしたと話してくれました。</li> <li>防災訓練などされていますし、全く問題ないと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>月に1階実施している事、その時の子ども達の様子などを保護者に伝えていく。</li> </ul>
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	94	0	0	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>行われていると思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月1回は訓練を実施している。</li> </ul>
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	94	6	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全確保されている支援だと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども・保護者にとっても安心・安全場であるように取り組んでいく。</li> </ul>
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	86	4	0	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>そうなったことはないですが対応してくださると思います。</li> <li>事故や怪我や病気が今のところないのでわかりません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者方に迅速に連絡を取るようにしている。また、事故報告書を作成し、改善を図っている。</li> </ul>
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	90	6	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生が怖いとたまにいう事がある。</li> <li>気持ちが不安定なることはないので安心していると思います。</li> <li>あづみに行くことを楽しみにしています。</li> <li>気分が乗らないときはあるみたいですが、楽しそうに帰ってくるので安心しています。</li> <li>通うのが大好きだと思います。</li> <li>担任の先生が2件の園の中で一番好きだそうです。</li> <li>先生方の話を良くします。信頼している感じます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんによっては、安心して通う事が出来るよう、スケジュール表をお渡しし、見通しを持つ事が出来るように配慮している。</li> <li>クラスだよりでイラストを交えて予告をしたり、一日の終わりに次回予告をしたりするなど、見通しをもちやすくできるよう配慮している。</li> </ul>

満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	84	12	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土日祝でも行きたいというぐらい大好きです。</li> <li>・行ったら楽しんでいますが、行き渋りがすごく、行きたがりません。</li> <li>・あづみに行きたい！と言っています。</li> <li>・最近行きたくなという事が増えました。</li> <li>・楽しみにしています。</li> <li>・園自体を行きたがらない日もあるので、どちらとも言えませんが、園についていた際には笑顔で園に入っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「行きたがらない」という背景になっている原因を探り、楽しく通てくることが出来るように対応を考慮していく。</li> </ul>
	29	事業所の支援に満足していますか。	91	9	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生口島までバスが来てくれると嬉しいです。因島でもせめてもう少し橋近くまで来てくれると負担が減って有難いです。</li> <li>・行事の案内が2週間前にあるので、仕事でいけないことがある。</li> <li>・あづみ園のおかげで大きく成長していると思います。ありがとうございます。</li> <li>・あづみ園に通わせていただいているおかげで子育てが出来ていると思います。いつもありがとうございます。</li> <li>・的確で良い支援をして頂いていると思います。</li> <li>・とても丁寧に見てくれ、子ども達一人一人の特性に合わせた対応をしてくれていると思います。悩みを一緒にになって解決してくれようしたり、子どものことを理解してくれているのがすごく伝わってくるので安心してお任せできるし、先生方皆様には本当に感謝しています。</li> <li>・対応がよく満足しています。</li> <li>・とてもよくしていただいてありがとうございます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事の案内は、保護者の方が参加しやすいように年の始めにご案内したり、年間計画で変更があった際には、1ヶ月前に配信をしたり都合が合わせやすくなるように配慮していく。</li> </ul>

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援センター向島あづみ：児童発達支援事業					公表日	R8年1月30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83	17	・部屋をどのように使うか他のクラスともよく連携を取り合っている。	・利用定員においてはスペースは確保できているが、活動によって広いスペースが必要になり、譲り合って使っている。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	92	8	・人員は十分に確保できている。 ・人数不足の時に臨時職員が勤務する体制がとられている。	・職員の急な休みに対応するのは、今の職員配置数では、心許ないと感じる		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	92	8	・エレベーターがあることで階段が負担な利用者に対して配慮が出来ている。 ・段差にはスロープがあったり、階段には子どもの身長に合わせた手すりが設置されている。	・収納スペースがもっとあればよいと思う。 ・建物の老朽化、廊下の温度管理の難しさ等障害の特性に応じた環境づくり以前の課題のように感じる。災害に弱く安全性に欠ける。耐震化工事など早急に対策が必要ではないか。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100	0	・登園前後に掃除の時間を設けており、清潔に保たれている。	・CO2モニターを保育室に設置することで換気の目安になると思う →現在は定期的に換気を行っているので、今後の購入検討にする。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100	0	・1階・2階共に使用できる部屋がある。 ・お昼寝ができない子が落ち着いて過ごせるように個別の部屋を利用している	・今後も継続して取り組んでいく。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100	0	・年度初めに見直しを行い、職員に周知している。	・今後も継続して取り組んでいく。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	親子活動や行事を開催したときは、保護者にアンケートをとり、意見や感想を伺い、次回へ繋げている。	・今後も継続して取り組んでいく。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100	0	・実態交流の時間を設けており、意見交換している。 ・管理者と年に2回の面談があり、意見を述べやすい環境の機会が設けられている。 ・月1回の職員会議で意見交換を行い、業務の改善点を話し合っている。	・今後も継続して取り組んでいく。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100	0	・年に1回、外部評価を行い、職員に周知して今後につなげている。	・今後も継続して取り組んでいく。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100	0	・フォーラム・職員研修・自主研修などの機会を設けており、手厚いと感じている。 ・月に1回の職員研修や保育士会が開催され勉強できる機会が設けられている。	・今後も継続して取り組んでいく。		
児童発達支援計画	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100	0	・ホームページにて公開している。	・今後も継続して取り組んでいく。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100	0	・入園前には保護者の方から聞き取りを行っている。入園後は個々に専門職によるアセスメントを行い、計画を作成している。	・今後も継続して取り組んでいく。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100	0	・子どもに関わる職員で、会議を開催し話し合っている。	・今後も継続して取り組んでいく。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100	0		・今後も継続して取り組んでいく。		

適切な支援の提供	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職によるアセスメントの場が設けられている。</li> <li>個別の発達検査・集団での観察でどちらもできていると感じている。</li> </ul>	・今後も継続して取り組んでいく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドラインに基づき、5領域で計画を作成し、支援を設定している。</li> </ul>	・今後も継続して取り組んでいく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子活動に専門職も関り、意見を出し合っている。</li> <li>日頃はリーダーが中心となり、チームで話し合い、準備・実行が出来る環境になっている。</li> </ul>	・今後も継続して取り組んでいく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>個の特性を把握して、活動を組むようにしている</li> </ul>	・今後も継続して取り組んでいく。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別指導は専門職が担当し、集団は保育士等が担当し、連携を図り、支援を行っている。</li> </ul>	・今後も継続して取り組んでいく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝礼で内容・ねらい・人員配置を共有している。</li> <li>その日の活動については、各クラスで打ち合わせを行っている。</li> </ul>	・今後も継続して取り組んでいく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>場の設定はしていないが気になったことは声を出して共有している。また、クラス単位で振り返りをおこなっているときもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行うこともあるが必ずとは言えない。</li> <li>パート勤務職員とは時間を作り、共有するように努力をしている。</li> </ul>
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>些細なことも記録に残している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録に残すだけでなく、クラス間で共有し統一した支援・関わりができるようにする。</li> </ul>
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の方にニーズと子どもの発達段階に合わせて支援計画の見なおし・修正をしている。</li> </ul>	・今後も継続して問えり組んでいく。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理者・児発管・担当者が参加している。</li> </ul>	・今後も継続して問えり組んでいく。
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、医療機関を紹介している。</li> <li>定期的に関係機関と連携を図っている。</li> </ul>	・今後も継続して問えり組んでいく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援内容については、保護者の了承を得て、共有している。また、必要に応じては直接訪問し連携を図っている。</li> </ul>	・今後も継続して問えり組んでいく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学先と連携を図っており、個人に合わせて教材選びや支援内容について、情報共有を行っている。</li> </ul>	・今後も継続して問えり組んでいく。
	28	<p>（28～30は、センターのみ回答）</p> <p>地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。</p>	83	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>スムーズに移行できるよう連携を図っている。</li> <li>フォーラム・外部講師セッションへの参加の機会を設けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援協議会で連携をすることはあるが、各々で連携することは少ない。</li> <li>法人内で、連携をとることは出来ている。</li> </ul>
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業療法士・歯科医師等を定期的に招いて指導・助言を受けている。</li> <li>研修の案内があるときは、職員に回覧し、希望を募っている。</li> <li>職員自ら研修への参加希望があったときは、受講できる体制を整えている。</li> </ul>	・研修の案内が事業所に合った場合は職員に周知し、場合によっては受講を進めている。

連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	92	8	・主に管理者や相談員が参加している。 ・情報を共有できるようにしていく。	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	33	67	・事業所が主となり計画をすることはないが、地域のイベントなどはポスターを掲示したり配布したりして、保護者の方に情報提供をしている。	・地域の認定こども園や保育所等の子ども達と交流機会が出来るように、検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100	0	・送迎時や個別指導、親子活動時を利用して情報共有に努めている	・今後も継続して取り組んでいく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100	0	・年間でペアレント・トレーニングを開催している。	・保護者の方の都合により参加が難しい方がいた。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100	0	・入園時に説明を行っている。	・今後も継続して取り組んでいく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100	0	・発達上、子どもの意思確認は難しいため、保護者の意向確認を行っている。	・今後も継続して取り組んでいく。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100	0	・説明を行い、同意が得られた時にはサインをもらっている。	・今後も継続して取り組んでいく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100	0		・今後も継続して取り組んでいく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	83	17	・運動会・発表会・サークル活動など、きょうだい児の参加のイベントを企画・運営した。 ・保護者会は設立していないが、行事への自主参加を呼びかけ、交流の場としている。 ・保護者間で悩みを共有したりうまくいった支援について話す機会がある。	・今後も保護者間で交流できる機会が持てるよう計画を立てて実行していく。 ・きょうだい間への参加も今年度から企画・運営しているので、定着していくように図っていく。
保護者への説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100	0	・相談があったときには、日程調整を行い対応している。	・今後も継続して取り組んでいく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100	0	・コドモンを活用し、園便り・クラスたより・行事の案内を配信している。	・今後も継続して取り組んでいく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100	0	・職員間で声を掛け合うようにしている。	・今後も継続して取り組んでいく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100	0	・視覚的なツールを活用している。 ・子どもや保護者に合った伝え方をしている。	・今後も継続して取り組んでいく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	58	42	・社会資源の活用をして、利用者との交流を図っている。	・地域資源を活用し、来園してもらっているが、限られた人たちになっている。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100	0	・入園時に保護者の方へ周知している。	・今後も継続して取り組でいく。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100	0	・定期的に訓練を行い、シミュレーションしている。	・今後も継続して取り組でいく。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100	0	・入園前にしている。 ・保護者の方に確認し、見返せるように記録管理をしている。	・今後も継続して取り組でいく。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100	0	・利用開始前には聞き取りを行い、指示書を提出してもらい対応しているが、難しいときは弁当を持参してもらっている。	・今後も継続して取り組でいく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	92	8		・建築上、外部からの不審者の侵入を防ぐことは難しい。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100	0		・今後も継続して取り組んでいく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100	0	・ヒヤリハットがあったときは記録を取り、各自で振り返る様に声掛けが行われている。	・今後も継続して取り組んでいく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100	0	・毎年、必ず行われている。	・今後も継続して取り組んでいく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100	0	・そうなった場合は保護者説明と記録をとる様に周知している。	・今後も継続して取り組んでいく。